

フェイクニュースに対する警告タグは有効なのか

—日本大学生を対象とした検証—

○陳 晗 (CHEN Han)、竇 雪 (DOU Xue)

Keywords : フェイクニュース、警告タグ、暗黙的な真実効果、バックファイア効果、警告効果

1 目的

本研究ではフェイクニュースに警告タグをつけることによって、ニュースに対する信頼性がどのような影響を受けるかについて、日本の若者を対象にした実験を通して明らかにする。2016年のアメリカ大統領選をきっかけにフェイクニュースの氾濫や拡散が社会問題となっている(Lazer et al., 2018)。その対策の一つとして、近年では海外を中心に、検知されたフェイクニュースについて、このニュースがフェイクである可能性を指摘した「警告タグ」をつける動きが出ている。興味深いことに、この「警告タグ」の有効性に関しては、様々見解がなされており、例えば、警告タグをつけることで、フェイクニュースに対する信頼性が低下する(警告効果)と言われている一方で、逆に信頼性が高まってしまう(バックファイア効果)という研究結果も出ている(Chan, Jones, Jamieson, & Albarracín, 2017; Lewandowsky, Ecker, Seifert, Schwarz, & Cook, 2012; Nyhan & Reifler, 2010)。さらに、警告タグの使用によって、タグをつけていないニュースに対して信頼性が高まるという「暗黙的な真実効果」も指摘されている(Pennycook et al., 2019)。警告タグに関する先行研究は多くの場合アメリカの参加者を対象としており、同時に政治ニュースを扱ったものが多い。そのため政治に関心をあまり持っていない日本の若者を対象とした場合、どのような結果になるかを検討する価値があるといえる。

2 方法

大学生 67 人を対象に 2 (警告タグ条件: あり・なし) x 1 の参加者間実験を行った。参加者をランダムに警告タグなしグループとありグループの二つのグループに分けた後、ニュースの見出しをいくつか閲覧してもらった。警告タグなしグループ(統制群)では、フェイクニュースの見出し 4 件、リアルニュースの見出し 4 件を閲覧してもらい、警告タグありグループ(実験群)では、警告タグ付きフェイクニュースの見出し 2 件、警告タグ付いていないフェイクニュースの見出し 2 件とリアルニュースの見出し 4 件を閲覧してもらった。その後、参加者には各ニュース見出しの真偽の判断、信用性、共有意図とそのニュースが自分とどのくらい関わっているかについて個別に回答を求めた。

3 結果

条件間の違いを見るために、共分散分析を用いて分析した。結果として、警告タグあり条件にいた参加者の方が、フェイクニュースへの信頼性をより低く評価しており、その差は 5%水準で有意であった。このことから、今回は警告効果が見られた。また、ニュース内容と自身との関わりの程度がニュース信用性の判断にどのような影響を与えるかを見るため、一般線形モデル(GLM)を用いて分析した。全体として、ニュース内容が自分と関わりが高いほど、参加者のそのニュースに対する信用性と共有意図が高くなる傾向が見られた。この傾向は 4 つのフェイクニュースの結果において、特に顕著であった。さらに、「警告タグありなし」と「自分との関わり」の交互作用についてもいくつか有意傾向が見られた。具体的には、ニュースに警告タグがついている場合、そのニュースと自身の関わりが高いと感じるほど、参加者はそのニュースを信用する傾向があった(10%水準で有意)。これは、状況によってはバックファイア効果が出る可能性があることを示唆している。

4 結論

以上により、全体的には、警告効果が見られたが、自分と関わりの高いニュースの場合はバックファイア効果が出る可能性が示唆された。理由として、自分と関わりが高い物事について、人はより強い信念を持っているため、その信念に合わない情報に接した時(例えば警告タグを見た時)、心理的な反発が生じ、結果としてその内容を信用できないと判断したと考えられる。これについては引き続き検証が必要である。

【主要参考文献】

- Chan, M. P. S., Jones, C. R., Hall Jamieson, K., & Albarracín, D. (2017). Debunking: A meta-analysis of the psychological efficacy of messages countering misinformation. *Psychological science*, 28, 1531-1546.
- Ecker, U. K., Lewandowsky, S., & Tang, D. T. (2010). Explicit warnings reduce but do not eliminate the continued influence of misinformation. *Memory & cognition*, 38, 1087-1100.
- Lazer, D. M., Baum, M. A., Benkler, Y., Berinsky, A. J., Greenhill, K. M., Menczer, F., ... & Schudson, M. (2018). The science of fake news. *Science*, 359, 1094-1096.
- Nyhan, B., & Reifler, J. (2010). When corrections fail: The persistence of political misperceptions. *Political Behavior*, 32, 303-330.
- Pennycook, G., Bear, A., Collins, E., & Rand, D. G. (2019). The Implied Truth Effect: Attaching Warnings to a Subset of Fake News Headlines Increases Perceived Accuracy of Headlines Without Warnings. *Management Science*.